

◆ 一般会計歳入・10年前との比較 ◆

歳入総額は76億1675万円の増(+18.2%)となっています。そのうち、自主財源は17億9872万円の減(▲6.0%)となる一方で、依存財源は94億1547万円(+80.0%)の大幅な増となりました。また、自主財源の割合は14.8ポイント低下しました。

	区 分	平成 30 年度		平成 20 年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	市税	231億6509万円	57.1%	255億8024万円	71.9%
	繰越金	17億349万円		14億7304万円	
	諸収入	9億7090万円		14億3925万円	
	繰入金	8億1239万円		2億7803万円	
	使用料及び手数料	6億8522万円		7億857万円	
	分担金及び負担金	5億9585万円		4億5052万円	
	財産収入、寄附金	3億1294万円		1億1495万円	
依存財源	国庫支出金	79億7375万円	42.9%	41億7516万円	28.1%
	県支出金	37億7158万円		24億9196万円	
	市債	32億5020万円		22億9350万円	
	地方消費税交付金	27億7304万円		13億6578万円	
	地方交付税	24億3608万円		1億4547万円	
	地方譲与税	3億3538万円		3億8789万円	
	自動車取得税交付金	1億7802万円		3億1716万円	
	地方特例交付金	1億2862万円		2億9307万円	
	その他	3億3515万円		2億9636万円	
合 計		494億2770万円	100%	418億1095万円	100%

## ◆ 一般会計歳出（性質別）・10年前との比較 ◆

人件費において職員定数や給与体系の見直し、公債費において繰上償還や無利子貸付制度の活用などを行い、歳出削減に努めた一方、医療費や保育費などの扶助費が大幅に増加（+73.5%）しているため、義務的経費全体では42億3989万円（+19.1%）の増となりました。

投資的経費は、鶴巻温泉駅南口の周辺整備などの都市基盤整備や秦野自転車駐車場整備などの事業を行ったことで3248万円（+0.8%）の増となりました。

義務的経費・投資的経費以外のその他の歳出は29億843万円（+20.5%）の増、歳出総額は、71億8080万円（+17.8%）の増となりました。

	区 分	平成 30 年度		平成 20 年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
義務的経費	扶助費	138億3638万円	55.5%	79億7668万円	54.9%
	人件費	92億8081万円		97億6673万円	
	公債費	32億6648万円		44億37万円	
投資的経費とその他	物件費	60億3941万円	44.5%	47億8499万円	45.1%
	繰出金	51億9659万円		47億3792万円	
	補助費など	49億7352万円		33億7932万円	
	投資的経費	40億577万円		39億7329万円	
	維持補修費	3億2936万円		2億7851万円	
	投資・出資・貸付金	3億400万円		7億8609万円	
	積立金	2億6098万円		2億2860万円	
合 計		474億9330万円	100%	403億1250万円	100%